

# 付 託 事 件 等 審 査 結 果 報 告

令和 元 年 1 2 月 2 3 日

薩摩川内市議会  
川内原子力発電所対策調査特別委員会  
委員長 川 添 公 貴

## 1 委員会の開催日

1 2 月 1 7 日

## 2 付託事件及び審査結果

陳情第8号 安全対策施設の未完成な川内原発の即時停止を求める陳情

本陳情については、委員間の自由討議により審査を行い、「特重施設の設置期限に間に合わない原発は停止することになっていることから、即時停止というより、今後、そういう状態を迎えることを理解しておくことが必要」、「九州電力(株)においては、定期検査を前倒しし、特重施設の工事を並行して進める計画であること、規制委員会の認可を得て停止状態になることが決まっている」、「これまでも新規制基準に基づき実施されており、特重施設についても安全対策等や電源のバックアップであり、何ら問題ない」、「国民は100%安全でなければ廃炉を求めている。原発がなければ社会生活が成り立たないというわけではない」、「原発・化石燃料発電以外で夜間に安定した電力を提供できるものはなく、当分の間は必要」、「100%安全であるとの表現は前原子力規制委員会委員長も誤解を招く表現であると述べている。各事象に対し100%はあり得ないし、限りなく近づけることが重要である」といった議論があった。

その後、本陳情の取扱いについて協議し、採決を求める意見があったことから討論に入った。

討論においては、「福島事故から8年経過した今もなお後始末ができていない。そういったリスクの高い原発を一刻も早く停止してほしいという陳情の願意は理解できる」という賛成討論が述べられ、採決の結果、起立少数により不採択とすべきものと決定した。